

社会

2011 (平成23) 年度
高等学校入学検査問題

(検査時間 50分)

<受検上の注意> 答えは、すべて解答用紙に記入すること。

問1 日本と世界の農業について、下記の問いに答えよ。

問1 表1は、ニンジン^①の生産量について、上位8位までの都道府県を示している。日本では、ほぼ1年を通じて日本各地に国産のニンジン^①が出荷できている。その理由について、表1を参考に、都道府県の位置を根拠にして、40字以内で説明せよ。

順位	都道府県	生産量 (t)
1位	北海道	195600
2位	千葉	132300
3位	徳島	50600
4位	青森	40200
5位	茨城	33700
6位	長崎	28000
7位	宮崎	26000
8位	愛知	25400

表1：ニンジン^①の生産量(2007年)
(日本国勢図会 2009/10)

問2 表2は茶(緑茶、烏龍茶、紅茶など)の生産上位国、表3は茶の輸入上位国を示している。以下の問いに答えよ。

国名	生産量(千t)
中国	1050
インド	893
スリランカ	311
A	311
トルコ	205

表2：茶の生産上位国(2007年)
(データブックオクザワールド2009)

国名	輸入量(千t)
ロシア	180
B	153
パキスタン	135
アメリカ	100
A	51

表3：茶の輸入上位国(2005年)
(データブックオクザワールド2009)

(1) A国は、赤道直下に広がる熱帯地域にあり、B国は北緯50度から60度にかけて広がる温帯地域にある。B国は、茶を栽培できないが茶の消費量は大きく、一人当たりの茶の消費量は世界で一番大きい。

A, Bに当てはまる国名を、次のア〜クからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えよ。

- ア イギリス イ ドイツ ウ フランス エ イタリア
オ エジプト カ フィリピン キ ブラジル ク ケニア

(2) 中国の南東部やインドの北東部では、茶の生産がさかんである。それらの地域に共通する気候の特徴を16字以内で述べよ。

問2 貿易について、下記の問いに答えよ。

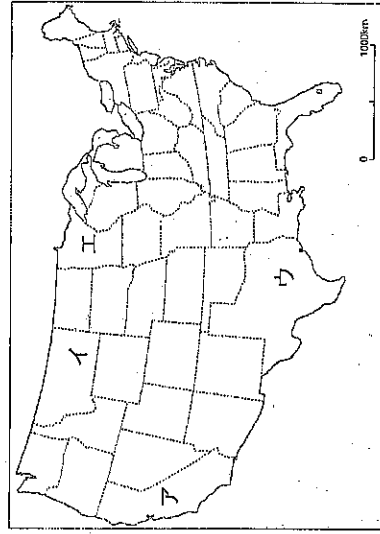
問1 貿易摩擦とは、輸出や輸入の極端な偏りから生じる問題である。日米間では、1980年代に入って、日本車の対米輸出がアメリカの自動車業界の販売不振につながった。

(1) この問題により、アメリカ最大の自動車工業都市が大きな影響を受けた。その都市名を答えよ。

(2) 日本の自動車業界が、貿易摩擦を解消するためにとった方法を20字以内で述べよ。

問2 日本は対米輸出黒字が続くなか、1988年に、牛肉やオレンジなどの農畜産物について、アメリカからの輸入の自由化を決定した。

(1) 牛肉とオレンジについて、地図中のア〜エの州の中で、それぞれの生産額(2006年)が最も多い州を、1つずつ選び、記号で答えよ。



(2) アメリカでは、肉牛を人工的に肥育する牧場が増えてきている。このような牧場を何というか。